

大学における障害学生受け入れの現状 ～2023調査より受験編①～

殿岡 翼 殿岡 栄子

- ・（一社）全国障害学生支援センターでは2023年7月から12月まで「大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査2023」を実施しました。以下、本調査または2023調査と略します。今回は本調査結果より、障害学生の在籍状況、受験可否・受験時条件の状況を中心に掲載します。
- ・直近3回の調査実施状況です。

略称	正式名称	開始日	終了日	掲載書籍
2024調査 次回調査	大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査2024	2024年6月 予定	2024年10月 予定	2025年1月に発行予定
2023調査 本調査	大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査2023	2023年7月	2023年12月	大学案内2025障害者版
2022調査 前回調査	大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査2022	2022年6月	2022年12月	大学案内2024障害者版

1 調査回答状況について

- ・2023調査の結果、調査対象大学 820 校（大学 810 校・大学校 10 校）に対し、回答数は386校で、回答率は 47%でした。前回調査より3校増減りました。ここ数年、調査の回答率が半数に満たない状況が続いており、より多くの大学に回答いただけるよう取り組んでいきます。また2024年度も継続して調査が予定されております。今後も継続した調査・出版・情報提供の実施に向けて取り組んでまいります。

※回答率とは、ある項目の回答数を回答大学数386で割った数（率・%）です。

※前回比とは、前回と今回の回答率の差（ポイント・pt）です。

※表中の▲は「マイナス」の意味です。

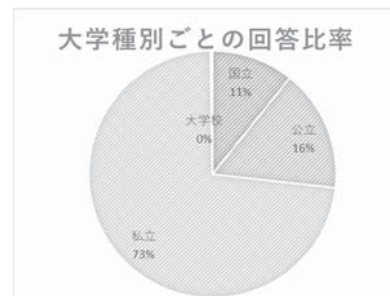
- ・本調査は大学の総意としての回答を求めており、途中まで回答を入力していても大学の総意（決裁）が取れず、最終的な回答に至らなかった大学もあります。このような大学や学生募集停止となった大学は、回答数には含まれておりません。

◆大学種別ごとの回答状況

- ・大学種別ごとでは前回調査と同様に公立大学の回答率ももっとも高く、66%でした。

種別	調査対象数	回答数	回答率%	前回比
大学①	810	385	48%	0pt
国立	86	42	49%	1pt
公立	99	65	66%	0pt
私立	625	278	44%	▲1pt
大学校②	10	1	10%	0pt
合計(①+②)	820	386	47%	▲1pt

参考：前回調査（2022調査） 調査対象数(819) 回答数（389）
回答率（48%）

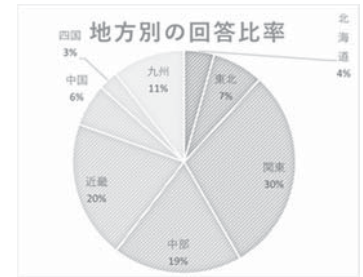


この文章で紹介しているデータのほとんどの項目は、大学案内障害者版 Web情報サービスにて公開しています。このサービスを利用すると、各項目にどこの大学が回答しているか分かります。お申し込みは、右のQRコードからアクセスしてください。



◆地方別の回答状況

・北海道・東北地方が伸びており、関東・近畿・中部・四国地方が減少しています。特に前回最も回答率が高かった四国地方が大きく減りました。



地方	調査数	回答数	回答率%	前回比
北海道	37	20	54%	8pt
東北	51	32	62%	5pt
関東	274	113	41%	▲1pt
中部	144	71	49%	▲2pt
近畿	160	74	47%	▲2pt
中国	54	25	46%	2pt
四国	18	9	50%	▲11pt
九州 沖縄	81	42	52%	1pt

2 在籍状況について

- ・障害学生の在籍がある大学は307校に達し、回答数の80%で前回比2ポイント増えています。在籍者の総数が1万5千人を超えました。また、障害学生が在籍する一大学あたりの障害学生数が、平均51.7人であり、前回調査と比べさらに増えました。
- ・在籍する大学数の前回比では、障害別の大分類（表の網掛け部分）で見ると「内部障害」が6ポイント、「発達障害」が5ポイントとそれぞれ増えました。また細かい障害分類では「不安障害」が5ポイント、「弱視」「難聴」「発達重複」「精神重複」が4ポイント増えました。一方「てんかん」が3ポイント、「電動」「統合失調症」が2ポイント減りました。
- ・在籍者数を前回調査と比較してみると「視覚障害」「肢体障害」では在籍者数が減っています。一方「聴覚障害」「発達障害」「精神障害」「内部障害」では在籍者数が増えています。障害種別によって在籍者数の増減に明確な変化があるのが今回の特徴でしょう。

障害種別	大学(校)	率	前回比	人数	増減	平均(人)
全盲	21	5%	2pt	48	☆	2.5
弱視	125	32%	4pt	323	☆	3.1
視覚障害	131	34%	4pt	371	☆	2.8
全ろう	23	6%	0pt	60	☆	2.6
難聴	186	48%	4pt	864	☆	4.6
聴覚障害	189	49%	▲1pt	924	☆	4.9
盲ろう	2	1%	0pt	2	☆	1.0
電動車いす使用	67	17%	▲2pt	117	☆	1.7
手動車いす使用	59	15%	▲1pt	87	☆	1.5
上下肢	76	20%	1pt	108	☆	1.4
下肢	102	26%	▲1pt	179	☆	1.8
上肢	53	14%	3pt	69	☆	1.3
肢体障害	193	50%	▲9pt	560	☆	2.9
SLD	69	18%	0pt	97	☆	1.4
ADHD	202	52%	3pt	1224	☆	6.0
ASD	214	55%	2pt	1331	☆	6.2
発達障害の重複	149	39%	4pt	651	☆	6.4
その他の発達障害	94	24%	2pt	409	☆	4.4
発達障害	258	67%	5pt	3712	☆	14.4
気分障害	207	54%	2pt	1526	☆	7.4
不安障害	208	54%	5pt	1113	☆	5.4
強迫性障害	100	26%	2pt	170	☆	1.7
解離性障害	52	13%	1pt	68	☆	1.3
適応障害	140	36%	3pt	454	☆	3.2
統合失調症	103	27%	▲2pt	189	☆	1.8
身体表現性障害	47	12%	2pt	69	☆	1.5
緘黙症	39	10%	2pt	51	☆	1.3
てんかん	138	36%	▲3pt	630	☆	4.6
高次脳機能障害	31	8%	0pt	39	☆	1.3
精神障害の重複	111	29%	4pt	385	☆	3.5
その他の精神障害	145	38%	3pt	1169	☆	8.0
精神障害	237	61%	▲1pt	5863	☆	24.7
ダウン症候群	2	1%	新	2	新	1.0
境界知能	11	3%	新	18	新	1.6
その他の知的障害	27	7%	新	57	新	2.1
知的障害	36	9%	1pt	77	☆	2.1
内部障害	223	58%	6pt	2468	☆	11.0
重複障害	145	38%	5pt	1125	☆	7.8
その他	120	31%	3pt	671	☆	5.6
種別不明	25	6%	1pt	114	☆	4.6
合計	307	80%	2pt	15887	☆	51.7

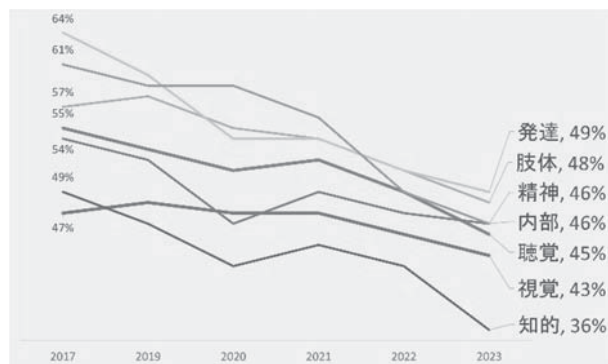
3 受験可否及び受験時の配慮状況について

◆受験可否

- ・受験可否の状況について前回との比較でみると、すべての障害で受験可が減っています。過去6回の調査の推移を見ても、下落し続けているのがわかります。
- ・障害別でみると、知的障害が139校、視覚障害が166校で少ない状況が続いています。

受験可と回答した大学の率の推移

障害 種別	受験可否					
	可			未定		
	数	率	前回比	数	率	前回比
視覚	166	43%	▲2pt	220	57%	1pt
聴覚	175	45%	▲4pt	211	55%	4pt
肢体	186	48%	▲3pt	200	52%	2pt
発達	190	49%	▲2pt	196	51%	1pt
精神	176	46%	▲2pt	210	54%	1pt
内部	178	46%	▲4pt	208	54%	3pt
知的	139	36%	▲6pt	247	64%	5pt



◆受験可否未定理由

- ・今回から知的障害の受験可否未定理由の質問が追加されました。
- ・受験可否未定の大学にその理由を尋ねてみると、どの障害種別でも「事前協議後に対応を検討するから」がもっとも多くなっています。障

可否未定理由 (複数回答可)	視覚障害			聴覚障害			肢体障害		
	数	率	比	数	率	比	数	率	比
事前協議後検討	210	54%	2pt	198	51%	5pt	191	49%	3pt
統一見解なし	29	8%	1pt	27	7%	1pt	25	6%	0pt
キャンパス設備の問題	20	5%	0pt	12	3%	0pt	11	3%	0pt
教職員側の態勢未整備	19	5%	▲1pt	14	4%	▲1pt	15	4%	0pt
試験ノウハウがない	17	4%	0pt	9	2%	0pt	12	3%	▲1pt
合格しても受け入れられない	4	1%	0pt	2	1%	▲1pt	2	1%	0pt
その他	8	2%	0pt	9	2%	0pt	5	1%	0pt

可否未定理由 (複数回答可)	発達障害			精神障害			内部障害			知的障害		
	数	率	比	数	率	比	数	率	比	数	率	比
事前協議後検討	187	48%	4pt	201	52%	3pt	197	51%	4pt	228	59%	新
統一見解なし	29	8%	0pt	32	8%	▲1pt	43	11%	▲1pt	53	14%	新
教職員側の態勢未整備	10	3%	0pt	10	3%	▲1pt	13	3%	0pt	15	4%	新
試験ノウハウがない	9	2%	0pt	14	4%	0pt	18	5%	0pt	21	5%	新
キャンパス設備の問題	4	1%	0pt	3	1%	0pt	7	2%	1pt	5	1%	新
合格しても受け入れられない	2	1%	0pt	0	0%	0pt	1	0%	0pt	1	0%	新
その他	3	1%	0pt	3	1%	0pt	5	1%	0pt	6	2%	新

害学生が「事前協議」で受験出来るかどうか左右されるという実態は依然として変わっていません。

- ・「統一した見解がまとまっていない」「設備に問題」「試験のノウハウなし」と続きます。
- ・「合格しても受け入れられない」のような事実上の受験不可ともいえる選択肢への回答が、視覚で4校、聴覚で2校、肢体で2校、発達で2校となっており、若干減りましたがこうした姿勢が残っていることは

問題です。

どこがちがう？ 事前協議と事前相談

- ・事前協議は、大学が障害学生の状況を見て、入試や入学後にどこまで配慮できるかを検討したうえで、受験可否を判断します。
- ・事前相談は、大学が受験を認めたうえで障害学生の様子を知るとともに、どのような配慮ができるかを検討するために行われます。

事前協議は障害学生の受験を認めるかどうかが決まっていな状況で行われますが、事前相談は受験を認めた上で実施されます。同じ話し合いの場ではありますが、受験が認められているのと、認められるかどうか分からないのでは、大きな違いです。

◆受験時の条件

視覚障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計	聴覚障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計
受験可	131	19	16	166	受験可	140	22	13	175
可否未定	66	6	148	220	可否未定	62	6	143	211
合計	197	25	164	386	合計	202	28	156	386
肢体障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計	発達障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計
受験可	142	25	19	186	受験可	125	41	24	190
可否未定	65	6	129	200	可否未定	53	8	135	196
合計	207	31	148	386	合計	178	49	159	386
精神障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計	内部障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計
受験可	114	36	26	176	受験可	119	32	27	178
可否未定	50	11	149	210	可否未定	54	4	150	208
合計	164	47	175	386	合計	173	36	177	386
知的障害	条件あり	条件なし	条件未定	合計					
受験可	83	30	26	139					
可否未定	47	15	185	247					
合計	130	45	211	386					

- ・受験可否と受験時の条件の関係について見てみると、それぞれの障害種別で、受験可と回答している大学の方が受験時の条件が決まっているという傾向が出ています。
- ・受験時条件の内容には「事前相談」「診断書の提出」「障害者手帳コピーの提出」など、受験時の配慮を決定するために必要と思われるものと、「入学後の補助者 大学は関与なし」、「入学後大学で配慮なし」など、受験時の配慮内容や入学後の障害学生の活動や配慮内容等を制約するものに区別されます。

視覚障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	視覚障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	191	49%	0pt	入学後の補助者 大学は関与なし	5	1%	1pt
診断書の提出	127	33%	2pt	誓約書の提出	4	1%	0pt
障害者手帳コピーの提出	88	23%	2pt	通常活字に対応可	4	1%	0pt
活字に対応可	20	5%	0pt	大学は事故責任なし	4	1%	0pt
入学後は自力通学	12	3%	1pt	入学後大学で配慮なし	1	0%	0pt
試験変更なし	10	3%	▲1pt	健康診断受診	0	0%	0pt
新設備設置・購入なし	10	3%	0pt	解答不可能な問題の減点	0	0%	0pt
入試時自分で歩行	9	2%	1pt	その他	29	8%	1pt

- ・視覚障害の受験時条件を見てみると「活字に対応可」、「試験（の形式）変更なし」のように、受験時の配慮

に関して厳しい条件をつける大学が依然として減っていないことが懸念されます。こうした条件がある大学を受験する際には注意する必要があります。

- ・聴覚障害の受験時条件を見てみると「試験変更なし」が12校、「新設備設置・購入なし」が10校、「誓約書の提出」「入学後の補助者 大学は関与なし」がそれぞれ3校ありました。本来入学後の情報保障を行うべき大学から、このような条件を出されることは、聴覚障害学生にとっては辛いことです。

聴覚障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	聴覚障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	196	51%	▲1pt	入学後の補助者 大学は関与なし	3	1%	0pt
診断書の提出	128	33%	2pt	大学は事故責任なし	2	1%	0pt
障害者手帳コピーの提出	89	23%	2pt	入学後大学で配慮なし	2	1%	0pt
試験変更なし	12	3%	▲1pt	解答不可能な問題の減点	1	0%	0pt
新設備設置・購入なし	10	3%	0pt	健康診断受診	0	0%	0pt
誓約書の提出	3	1%	0pt	その他	27	7%	1pt

- ・肢体障害の受験時条件については「入試時自分で身辺処理」が24校、「入学後は自分で身辺処理」が18校といった厳しい条件を付ける大学があります。通学や学内での生活、授業でのノートテイクなど、とくに人的支援が必要な場合には、こうした条件のある大学では、事前相談で自分に必要な支援についてきちんと大学に伝えることが大切です。

肢体障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	肢体障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	202	52%	▲1pt	入学後の補助者 大学は関与なし	7	2%	0pt
診断書の提出	133	34%	2pt	大学は事故責任なし	5	1%	0pt
障害者手帳コピーの提出	97	25%	1pt	誓約書の提出	3	1%	0pt
入試時自分で身辺処理	24	6%	1pt	入学後大学で配慮なし	1	0%	0pt
入学後は自分で身辺処理	18	5%	1pt	解答不可能な問題の減点	0	0%	0pt
試験変更なし	13	3%	0pt	健康診断受診	0	0%	0pt
新設備設置・購入なし	13	3%	1pt	その他	25	6%	1pt

- ・発達障害の受験時条件の内容については「新設備設置・購入なし」が10校、「試験変更なし」が8校、「誓約書の提出」が2校となっています。入学後に授業などで補助者が必要な学生が多くいる発達障害ですが、「入学後の補助者関与なし」も3校ありました。

発達障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	発達障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	170	44%	▲1pt	大学は事故責任なし	3	1%	0pt
診断書の提出	119	31%	2pt	誓約書の提出	2	1%	0pt
障害者手帳コピーの提出	75	19%	2pt	入学後大学で配慮なし	2	1%	1pt
新設備設置・購入なし	10	3%	1pt	解答不可能な問題の減点	1	0%	0pt
試験変更なし	8	2%	0pt	健康診断受診	0	0%	0pt
通常活字に対応可	3	1%	0pt				
入学後の補助者 大学は関与なし	3	1%	0pt	その他	23	6%	1pt

- ・精神障害の受験時条件では「新たな設備設置・購入なし」が9校、「大学は事故責任なし」が3校、「誓約書の提出」「入学後の補助者 大学は関与なし」が2校という厳しい条件をつける大学が見られました。

精神障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	精神障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	154	40%	0pt	健康診断受診	0	0%	0pt
診断書の提出	114	30%	3pt	入学後大学で配慮なし	0	0%	0pt
障害者手帳コピーの提出	73	19%	2pt				
新設備設置・購入なし	9	2%	1pt				
大学は事故責任なし	3	1%	0pt				
入学後の補助者 大学は関与なし	3	1%	0pt				
誓約書の提出	2	1%	0pt	その他	18	5%	0pt

・内部障害の受験時条件の内容では「新たな設備設置・購入なし」が8校、「入学後の補助者 大学は関与なし」が3校、「大学は事故責任なし」が2校などありました。

内部障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	内部障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	166	43%	1pt	入学後大学で配慮なし	1	0%	0pt
診断書の提出	115	30%	2pt	健康診断受診	0	0%	0pt
障害者手帳コピーの提出	76	20%	2pt				
新設備設置・購入なし	8	2%	1pt				
入学後の補助者 大学は関与なし	3	1%	0pt				
大学は事故責任なし	2	0%	0pt				
誓約書の提出	1	0%	0pt	その他	20	5%	0pt

・今回初めて知的障害で受験時条件を聞いた「設備設置・購入なし」が9校、「入学後の補助者関与なし」が3校、「大学が自己責任なし」が3校でした。

知的障害 受験時の条件	回答数	率	前回比	知的障害 受験時の条件	回答数	率	前回比
事前相談	125	32%	新	入学後大学で配慮なし	1	0%	0pt
診断書の提出	91	24%	2pt	健康診断受診	0	0%	0pt
障害者手帳コピーの提出	59	15%	2pt				
新設備設置・購入なし	9	2%	1pt				
入学後の補助者 大学は関与なし	3	1%	0pt				
大学は事故責任なし	3	0%	0pt				
誓約書の提出	1	0%	0pt	その他	13	3%	0pt

・どの障害についてもいえることですが、障害学生は受験時に必要な配慮について考えるだけでも、一般の学生に比べて時間と労力を要します。そのような状況下で、まだ入学が決まらない前の段階で、入学後についての配慮を認めないに等しい条件を付けられたり、誓約書を求められることはあってはならないことです。自分にとってどのような配慮が必要かをある程度考えておくことは役に立ちますが、実際の大学生活の中で新たに配慮が必要になったり、逆に必要と思っていた配慮がそれほど必要ではなくなることもあります。ですから受験前に、配慮や設備の必要の有無について断定的なことを大学に伝えることはせず、入学が決まった後に話し合いの機会を持っていたらよいようお願いすることが大切です。

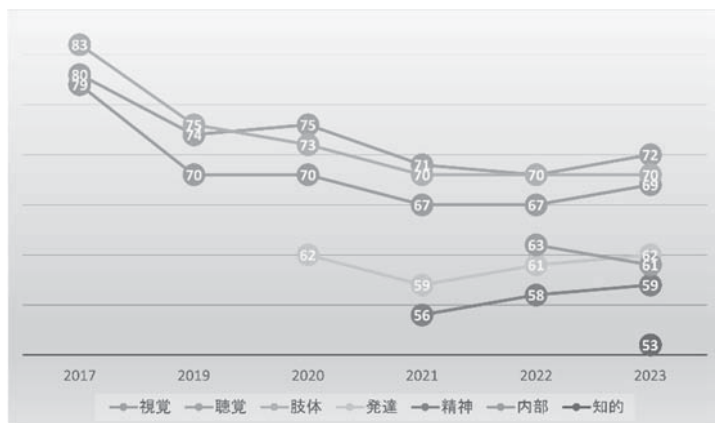
※表中の障害者手帳とは、視覚・聴覚・肢体障害については「身体障害者手帳」、発達・精神障害については「精神保健福祉手帳・療育手帳」を指します。

◆受験時の配慮

- ・受験時配慮の調査結果では、視覚障害・聴覚障害・肢体障害・発達障害で前回比とほとんど変化が見られませんでした。

受験時の配慮	配慮あり	率	前回比
視覚障害	265	69%	1pt
聴覚障害	278	72%	1pt
肢体障害	272	70%	0pt
発達障害	241	62%	1pt
精神障害	229	59%	2pt
内部障害	237	61%	▲2pt
知的障害	203	53%	新

- ・精神障害では「配慮あり」が2ポイント増加しており、このことは評価できます。
- ・内部障害については「配慮あり」が前回比で2ポイント減少しました。
- ・知的障害では、前回調査までは「配慮あり」の場合、内容の詳細については自由回答でした。今回の調査から他の障害と同様「配慮あり」の場合、試験時間・試験室・出題方法・解答方法等の詳細について、配慮選択肢のチェックが必須となりました。「配慮あり」は203校（53%）で、他の障害に比べてまだ少ない状況です。
- ・7月1日発行の情報誌では、受験時配慮の詳細についての分析を掲載する予定です。また10月・12月も調査分析を掲載予定です。引き続き2023年度も会員登録いただき、ご覧ください。



新刊書籍のご案内

大学案内 2025 障害者版

きっと見つかる！ あなたにぴったりの大学 好評発売中！

障害のある人の大学入試や授業中の配慮、学生生活のサポート等、知りたいことは、たくさんあるのに、情報が少なく不安…。そんな声に応えて「大学案内障害者版」は誕生しました。自らも大学で学んだ経験をもつ障害当事者の手によって編集・発行された、日本で唯一の障害のある受験生のための大学案内です！ 皆様にご好評頂き、この度1996年度版から15回目の発行となりました。今回は、知的障害の配慮内容がさらに充実いたしました。また別途利用会員に登録すると「大学案内障害者版 Web情報サービス」の活用が可能になり、Webサイト上で本書掲載の各質問の選択肢ごとに、回答した大学が表示されます。受験生、保護者の方、障害のある生徒の進路指導に携わる高等学校・特別支援学校の教職員の方、必見です！また、大学で障害学生支援に取り組んでいる部署の方もぜひご活用下さい。

編集・発行 一般社団法人全国障害学生支援センター
A4版 642頁 並製 ISBN978-4-9911821-4-3 C7037

定価 6,930円（税込）
会員割引 5,544円（税込）
障害学生割引 3,465円（税込）
送料は1冊につき520円（税込）